

平成 2 9 年度
中学生・高校生意識調査結果報告書

平成 2 9 年 9 月

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	調査票の配布・回収状況	1
4	グラフ中の表記	1
II	調査結果	3
1	回答者の属性について	3
(1)	性別	3
(2)	中学生・高校生別	3
(3)	居住地区	3
(4)	居住年数（市内在住者のみ）	4
(5)	将来の渋川市への居住意向	5
2	市の現状の評価について	6
問1	市の取組の満足度・重要度	6
3	男女の平等に対する意識について	20
問2	男女の役割分担意識	20
4	観光の取組について	21
問3	取り組むべき観光振興	21
5	市政について	22
問4	住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと	22
	資料	26
	中学生・高校生別満足度・重要度（加重平均値）	26
	【調査票】	29

I 調査概要

1 調査目的

この調査は、中学生及び高校生の本市の行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指針となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするため実施しました。

2 調査方法

- ① 調査地域 渋川市内
- ② 調査対象 市内の中学校に通う第2学年の生徒
市内の高等学校に通う第2学年の生徒
渋川特別支援学校高等部の生徒
- ③ 調査方法 アンケート用紙による自記式アンケート
- ④ 調査時期 平成29(2017)年5月22日～6月12日
- ⑤ 配布回収方法 各学校において直接配布、直接回収

3 調査票の配布・回収状況

- ① 配布数 1,432通(中学校663通・高等学校769通)
- ② 回収数 1,386通(中学校650通・高等学校736通)
- ③ 回収率 96.8%(中学校98.0%・高等学校95.7%)

4 グラフ中の表記

- ① 各設問に対する回答者数をnで表記しています。
- ② 数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ③ 市の取組の満足度・重要度(問1)の評価については、以下の算出方法で加重平均値を求めて評価点としています。評価点は2点から-2点の間に分布し、中間点の0.0点を境として、2点に近いほど評価が高く、-2点に近いほど評価が低いことを示します。

	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
ア	満足	重要	2
イ	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要	1
ウ	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば重要ではない	-1
オ	不満	重要ではない	-2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- ④ 本文中の「前回調査」は以下を示し、グラフ中では「平成 28 年度」と示します。

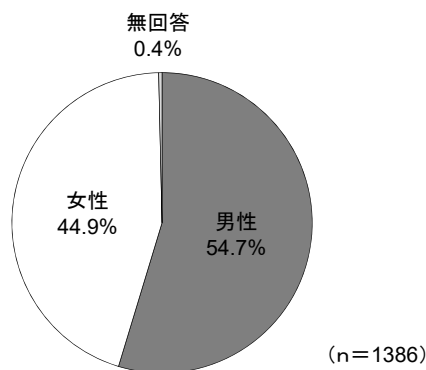
前回調査	中学生・高校生意識調査 平成 28 (2016) 年 6 月実施 配布 1,354 通・回収 1,304 通 (回収率 96.3%) 調査対象は本調査と同様 (市内中学校・高等学校に通う第 2 学年の生徒)
------	--

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性について

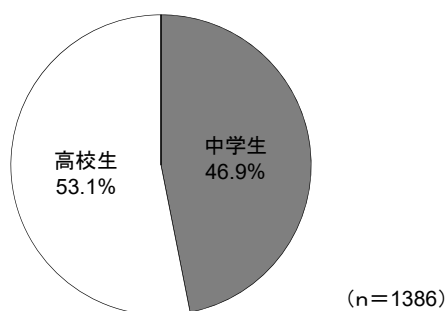
(1) 性別

男性（54.7%）が 5 割以上、女性（44.9%）が 4 割以上となっています。



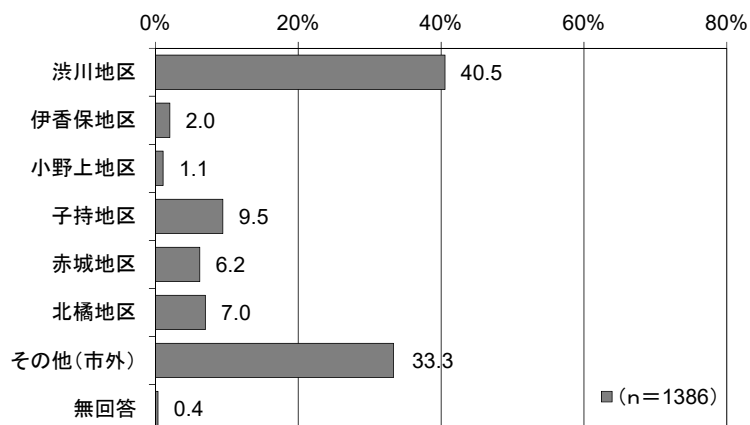
(2) 中学生・高校生別

中学生（46.9%）が約 5 割、高校生（53.1%）が 5 割以上となっています。



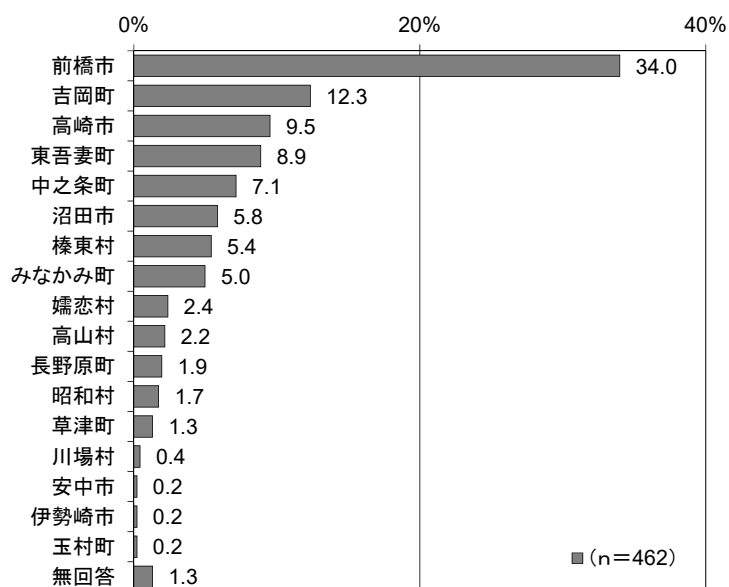
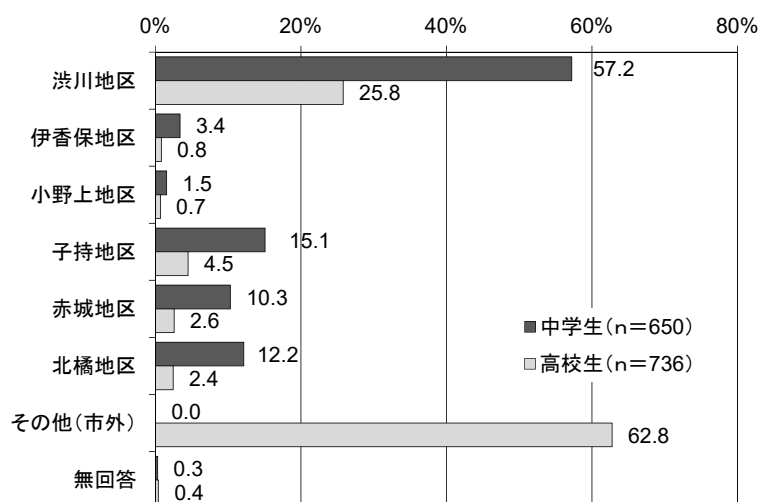
(3) 居住地区

渋川市内では、渋川地区（40.5%）が 4 割以上で最も高く、次いでその他（市外）（33.3%）が 3 割以上、子持地区（9.5%）が約 1 割となっています。



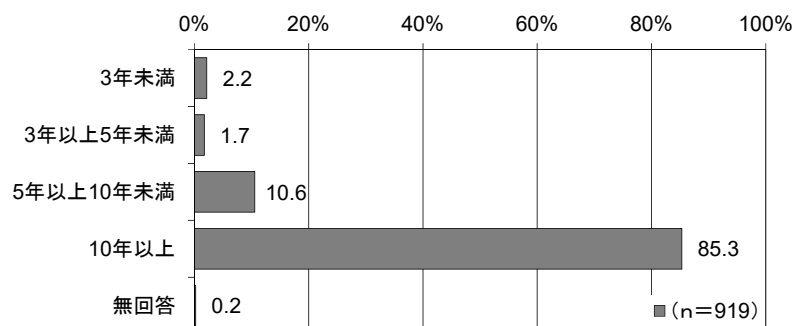
中学生は渋川地区（57.2%）が約 6 割、高校生はその他（市外）（62.8%）が 6 割以上でそれぞれ最も高くなっています。

高校生のみで見られるその他（市外）の内訳は、前橋市（34.0%）が 3 割以上で突出して高く、次いで吉岡町（12.3%）が 1 割以上となっています。



（４）居住年数（市内在住者のみ）

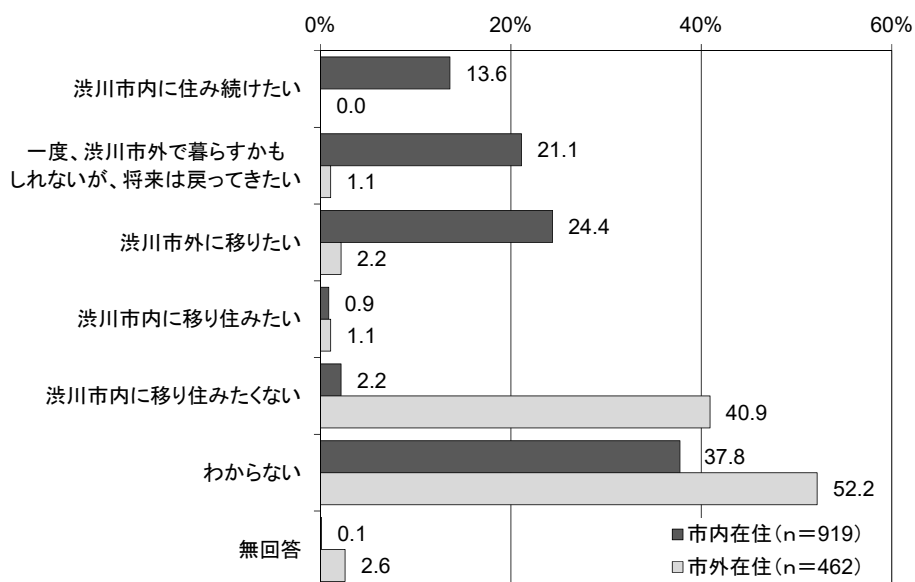
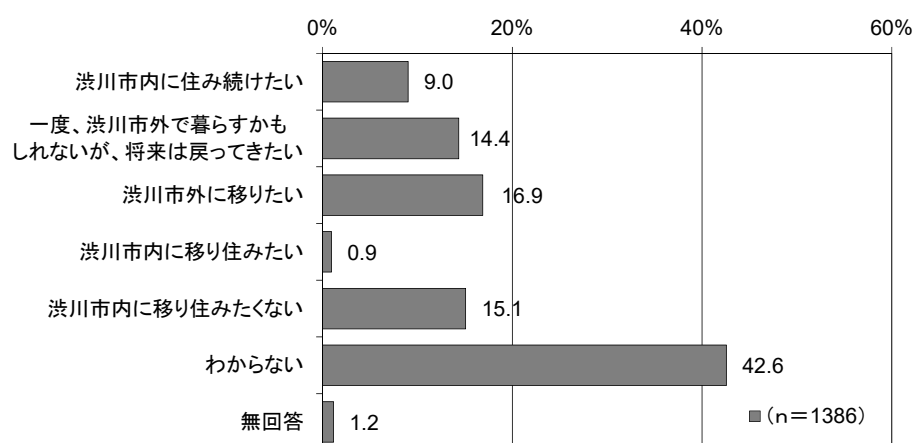
10 年以上（85.3%）が 8 割以上で最も高くなっています。



(5) 将来の渋川市への居留意向

「わからない」(42.6%)が4割以上で最も高くなっています。

市内在住者と市外在住者を見ると、市内在住者、市外在住者ともに「わからない」(市内在住者 37.8%、市外在住者 52.2%)が最も高く、市内在住者は約4割、市外在住者は5割以上となっています。次いで、市内在住者は「渋川市外に移りたい」(24.4%)と「一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」(21.1%)が2割以上で同程度となっています。市外在住者は「渋川市内に移り住みたくない」(40.9%)が4割以上で、「わからない」に次いで高くなっています。



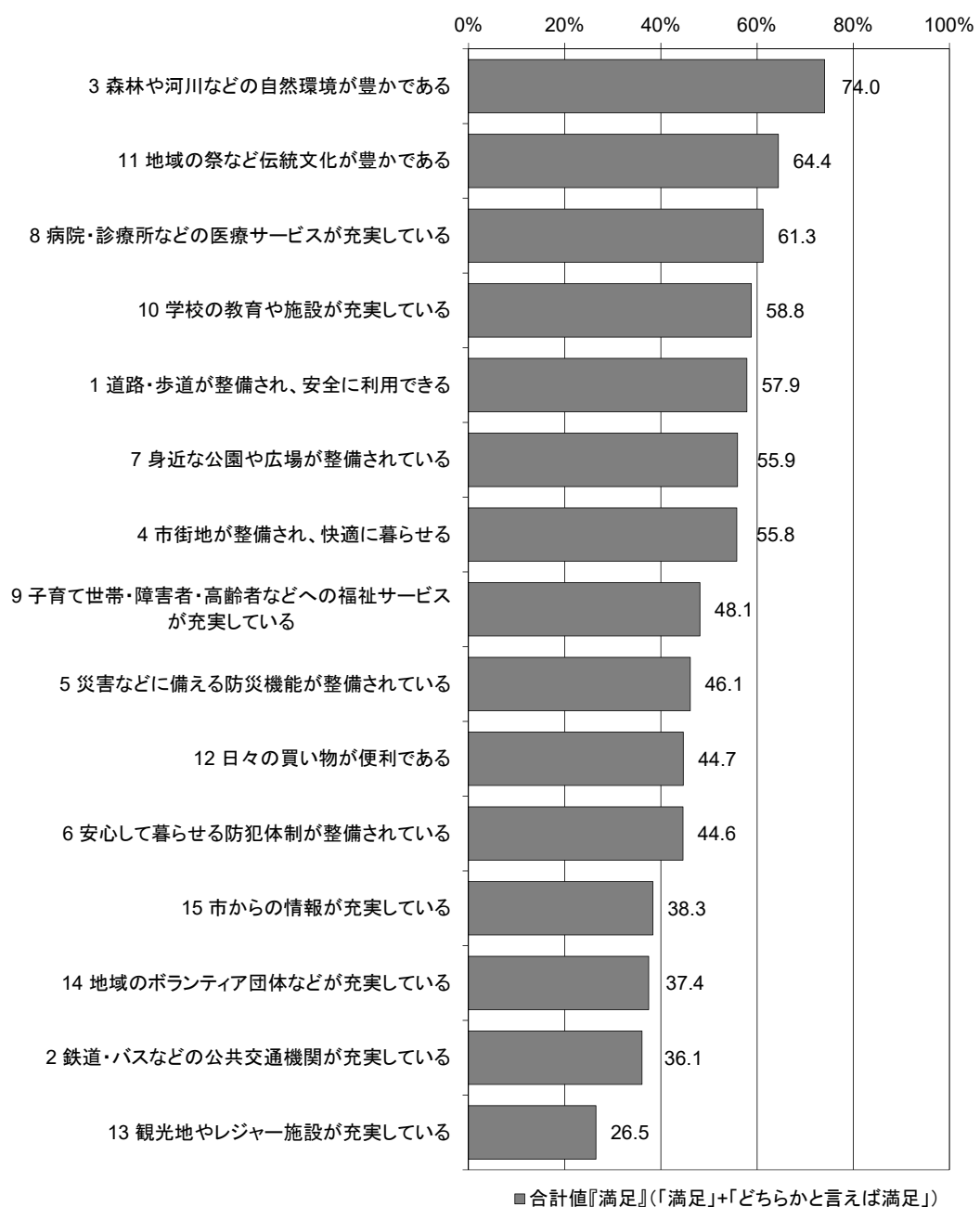
2 市の現状の評価について

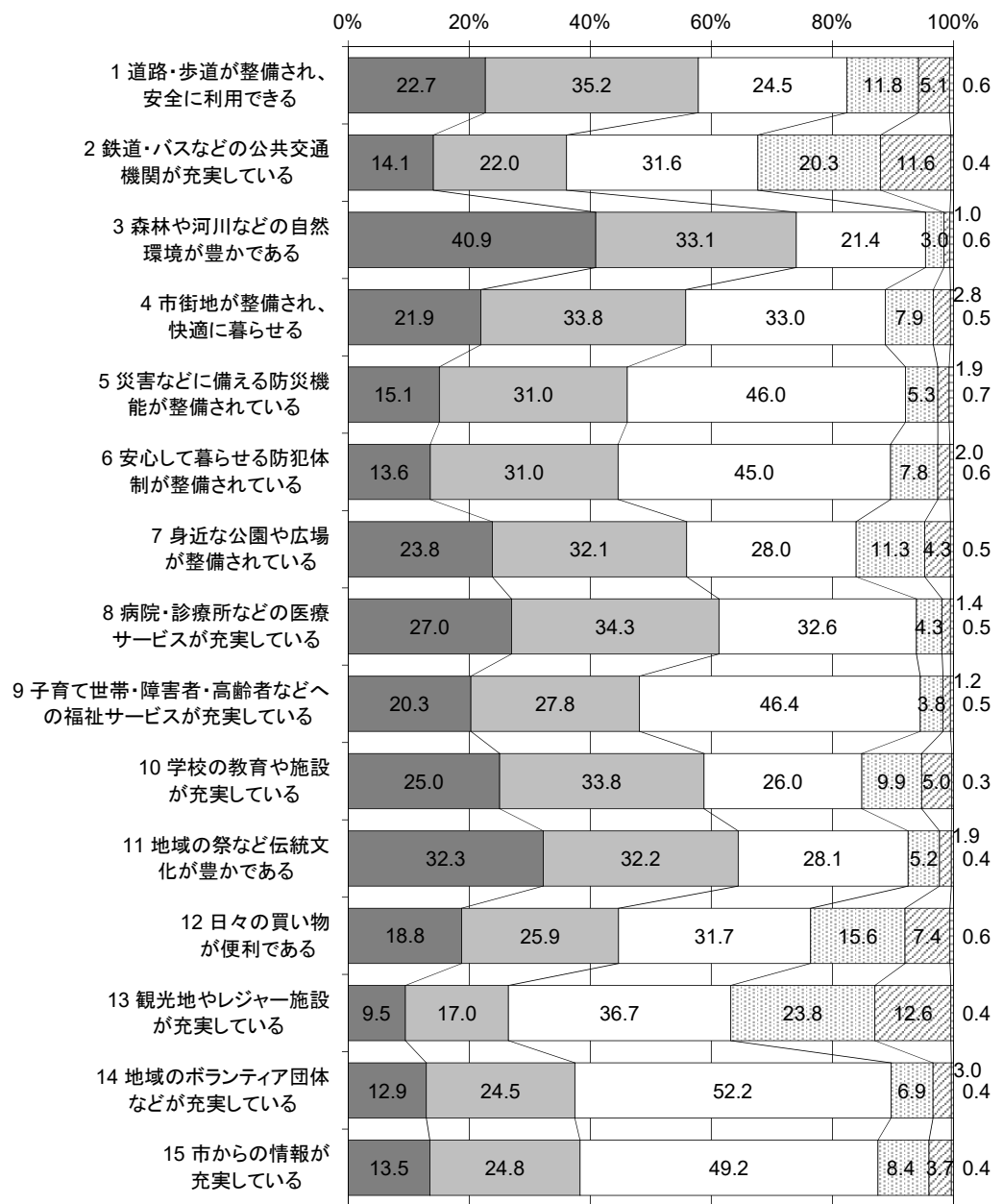
問1 市の取組の満足度・重要度

あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。(各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選択)

(1) 満足度

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(74.0%)が7割以上で最も高くなっています。



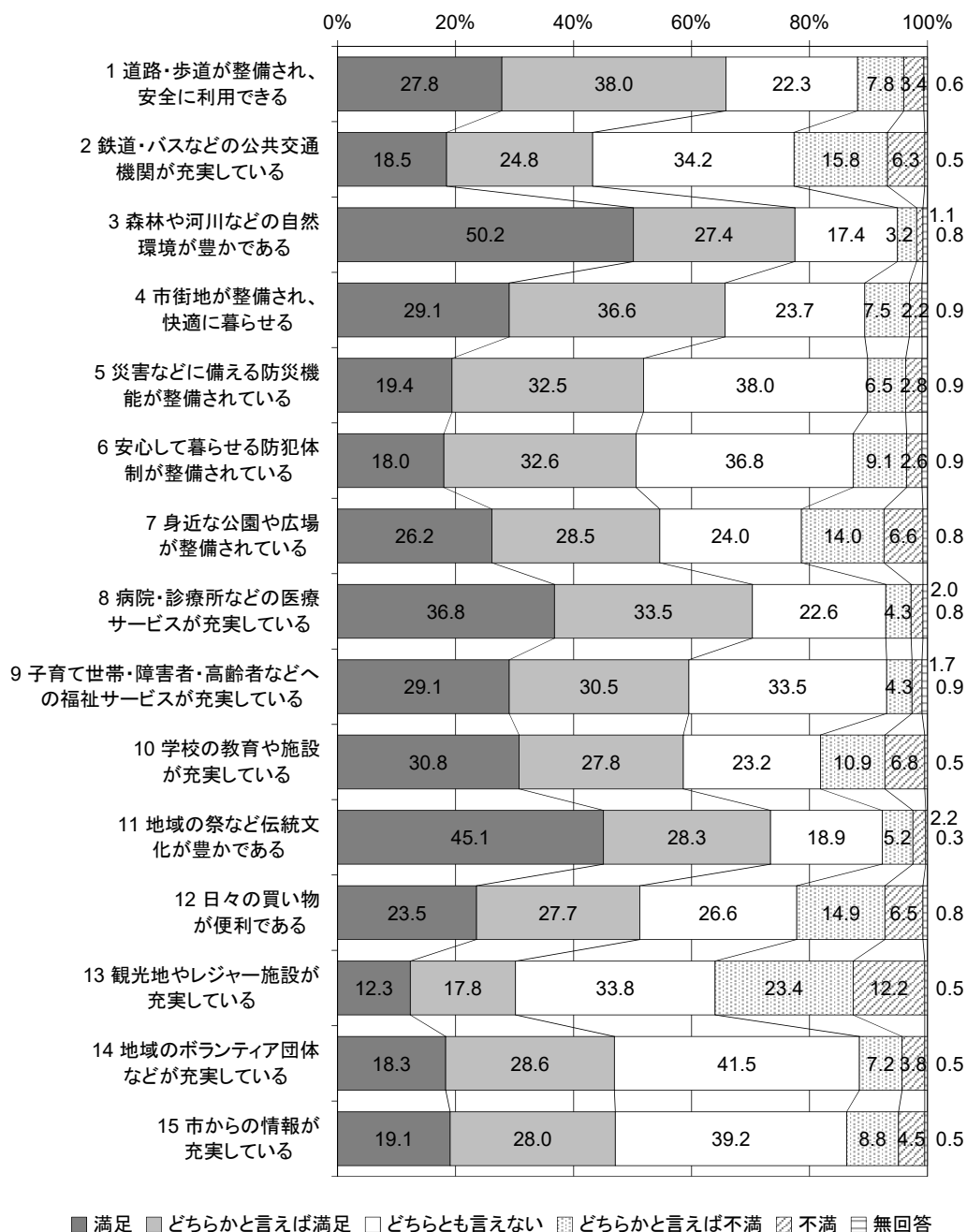


■ 満足 ■ どちらかと言えば満足 □ どちらとも言えない ▨ どちらかと言えば不満 ▩ 不満 □ 無回答

全体(n=1386)

【中学生・満足度】

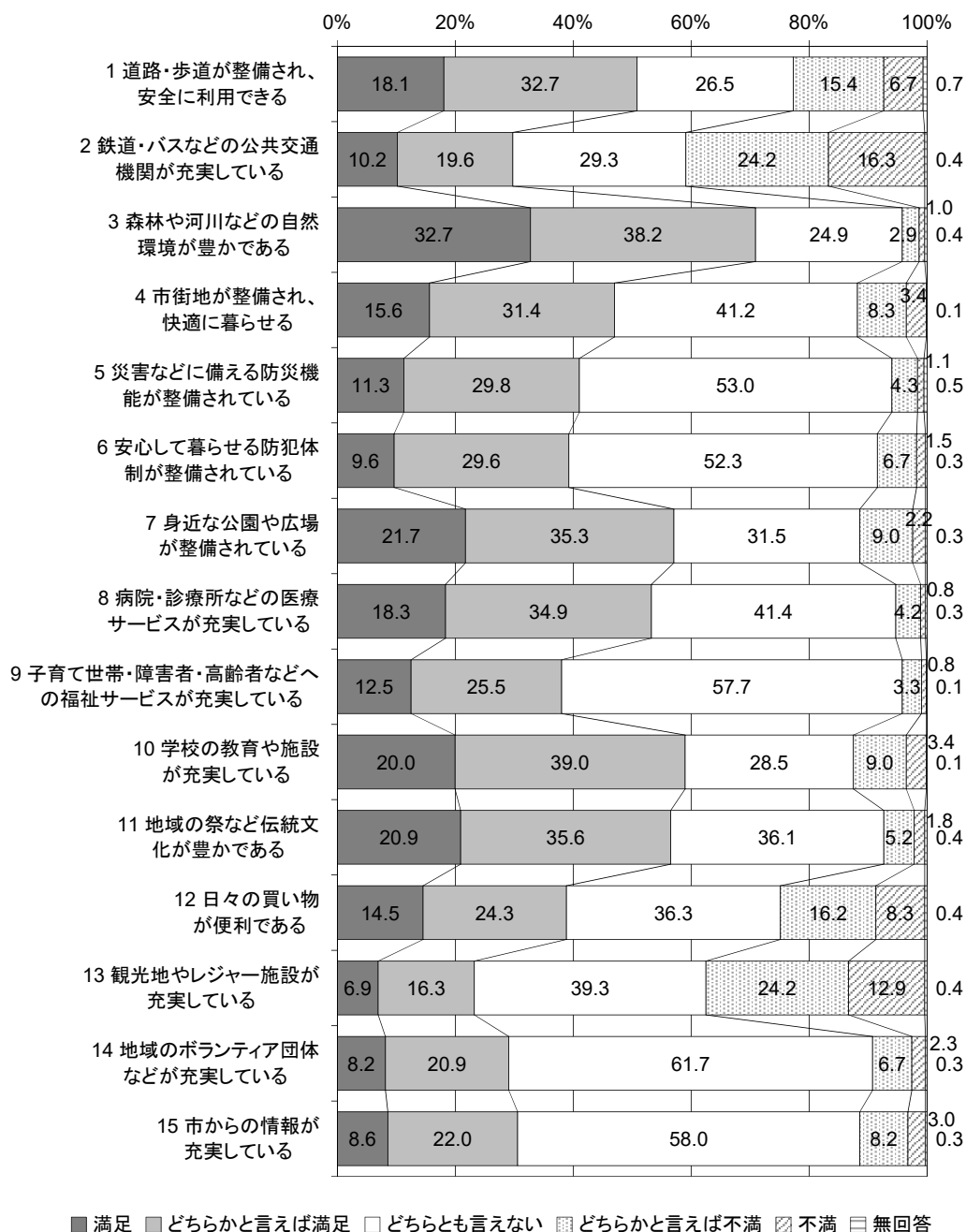
「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足』を見ると、全体傾向と同様に「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(77.6%) が約 8 割で最も高くなっています。



中学生 (n=650)

【高校生・満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足』を見ると、全体傾向と同様に「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(70.9%)が7割以上で最も高くなっています。

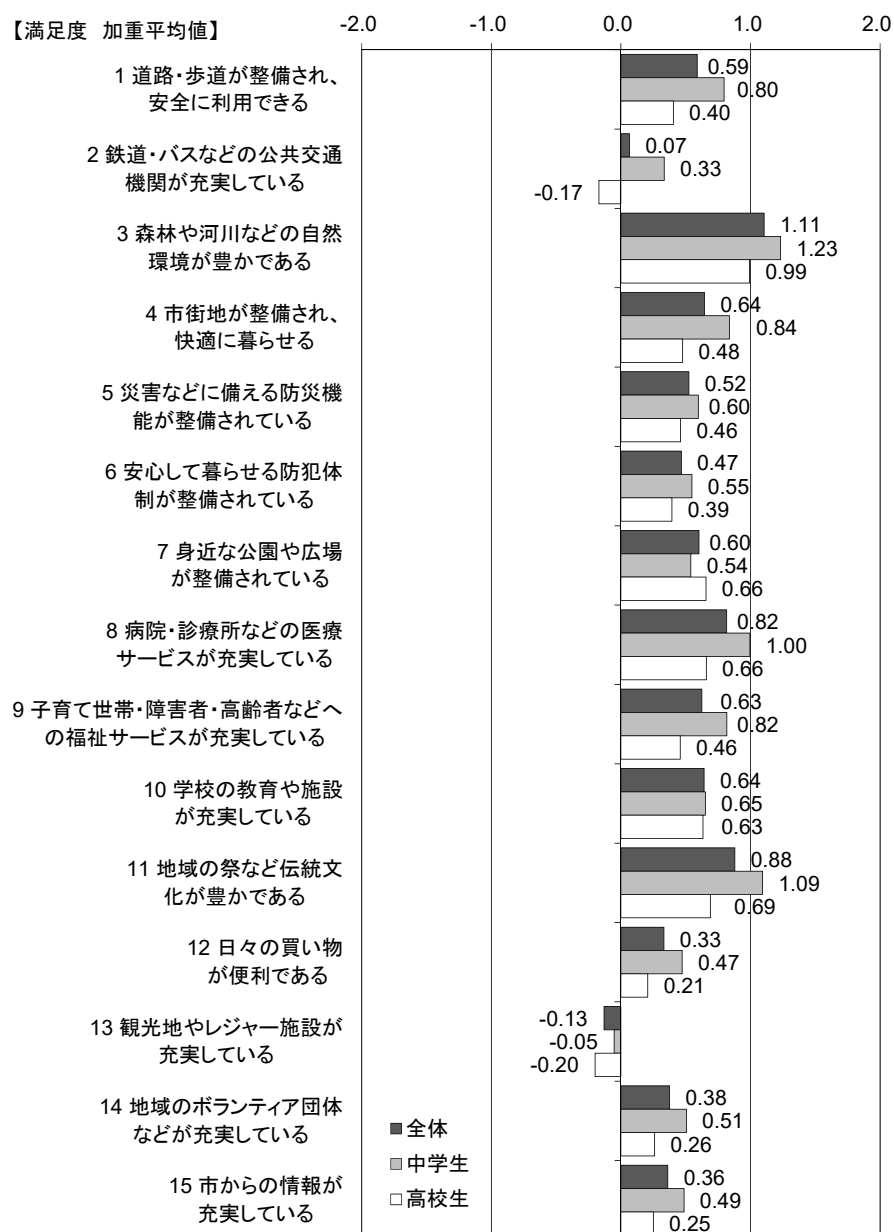


高校生 (n=736)

【加重平均値・満足度】

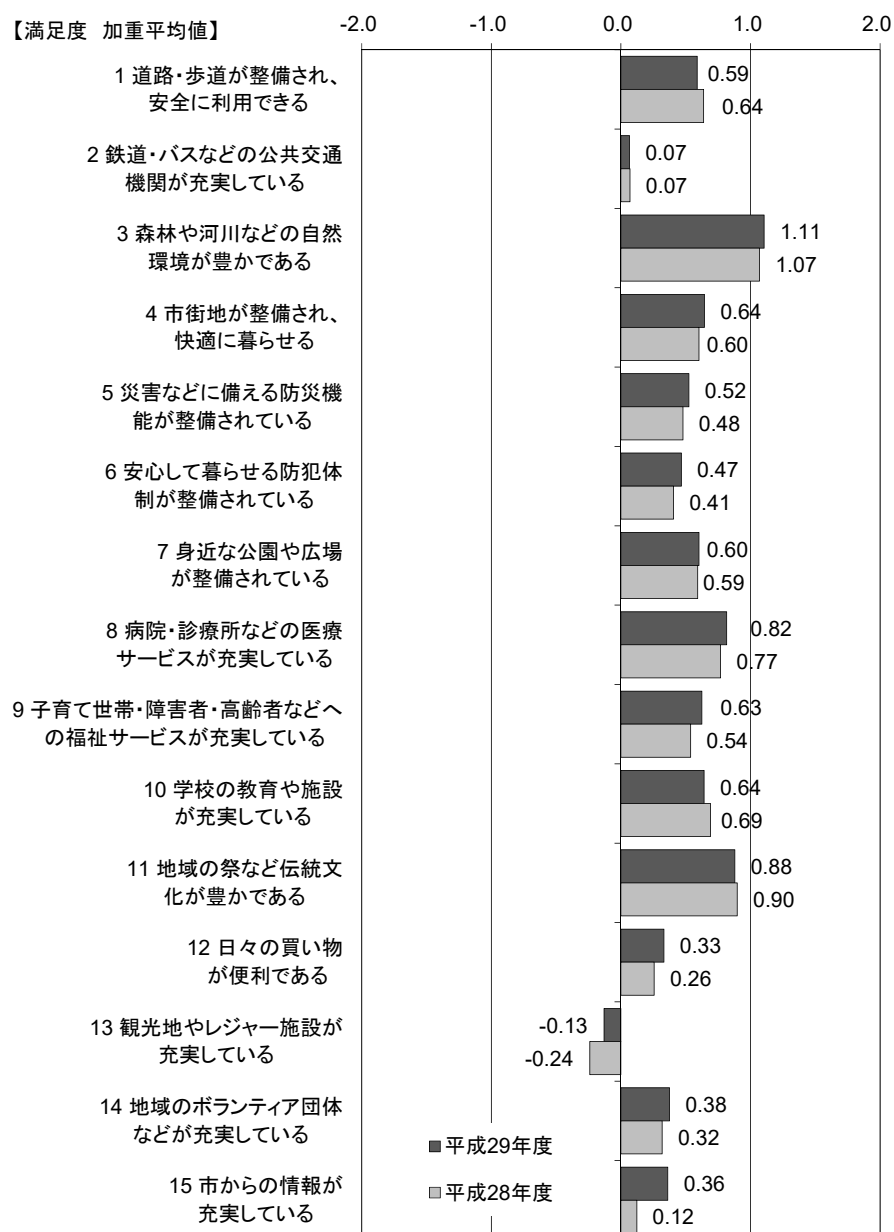
加重平均値を見ると、全体・中学生・高校生のいずれもほとんどの項目がプラス値となっており、その中で「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」が最も高くなっています。

一方、全体・中学生・高校生のいずれも「13 観光地やレジャー施設が充実している」が最も低く、マイナス値となっています。また、高校生は「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（-0.17 ポイント）もマイナス値となっています。



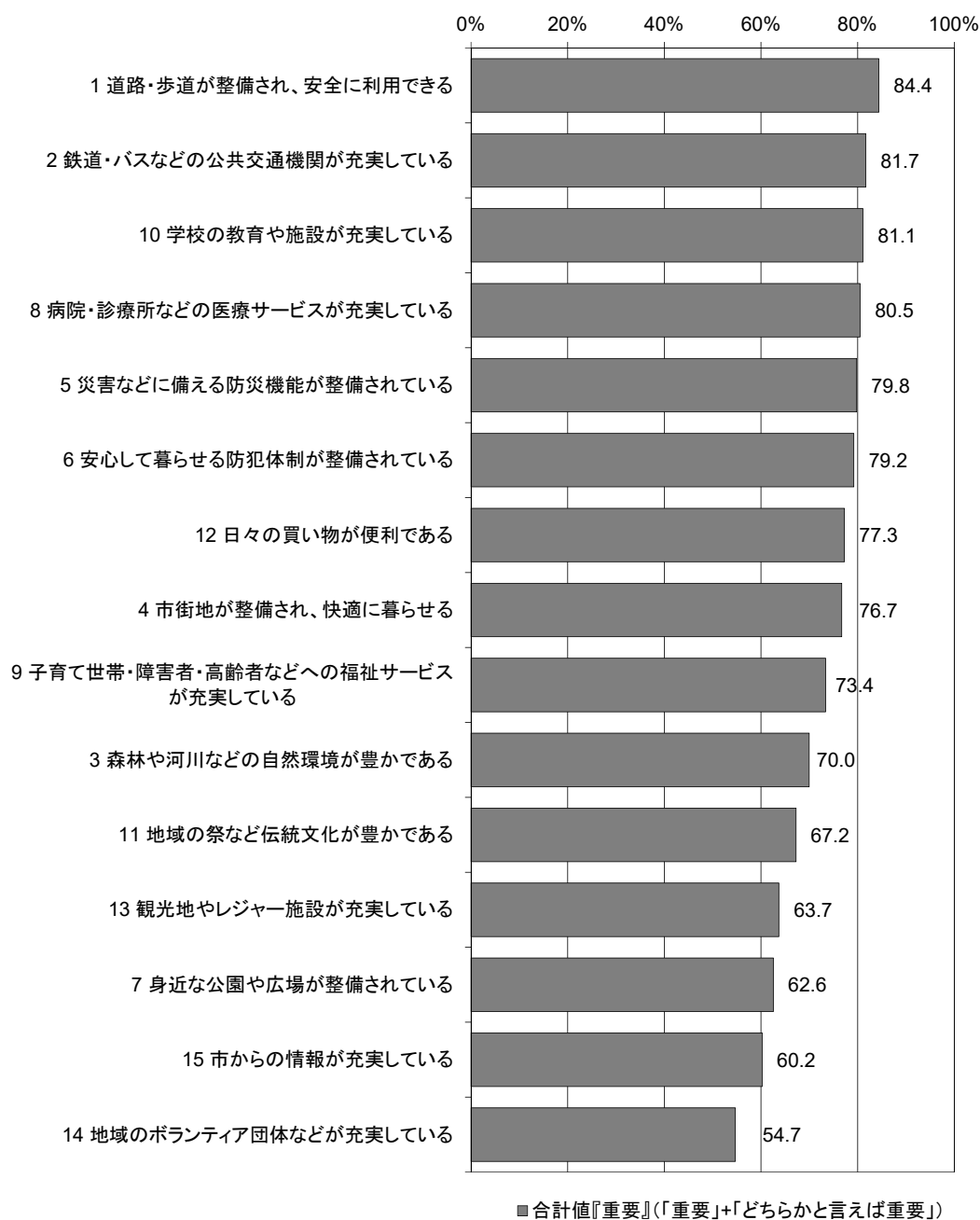
【加重平均値・全体・満足度の経年変化】

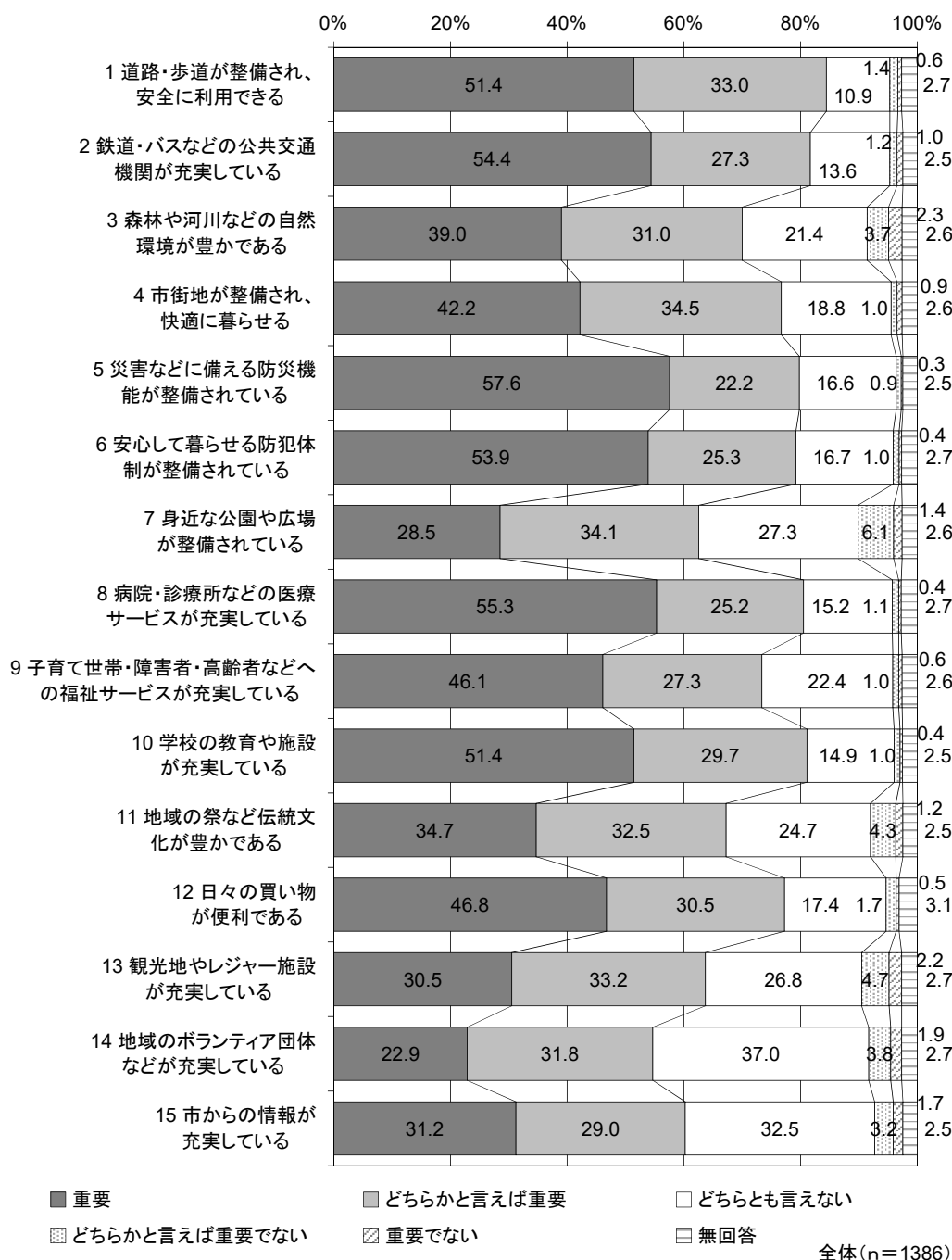
全体について、前回調査（平成 28 年度）との比較を加重平均値で見ると、ほとんどの項目が前回と同程度で推移しています。その中で、「15 市からの情報が充実している」（前回 0.12 ポイント、今回 0.36 ポイント）は前回より 0.2 ポイント以上高くなっています。また、「13 観光地やレジャー施設が充実している」（前回－0.24 ポイント、今回－0.13 ポイント）は前回と同様にマイナス値となっていますが、前回より 0.1 ポイント以上高くなっています。



(2) 重要度

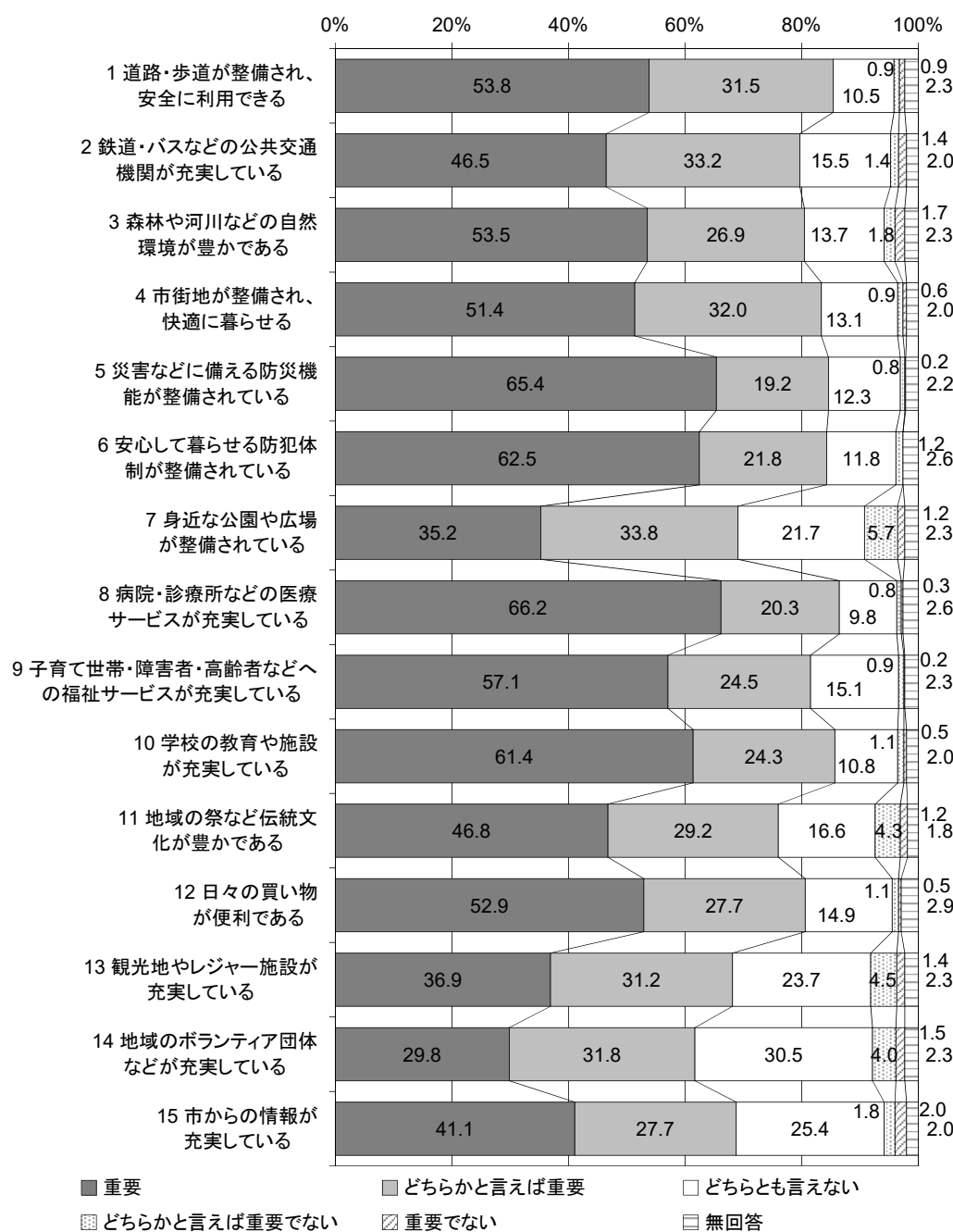
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」(84.4%)が8割以上で最も高く、次いで高い「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」「10 学校の教育や施設が充実している」「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」の3項目も8割以上となっています。





【中学生・重要度】

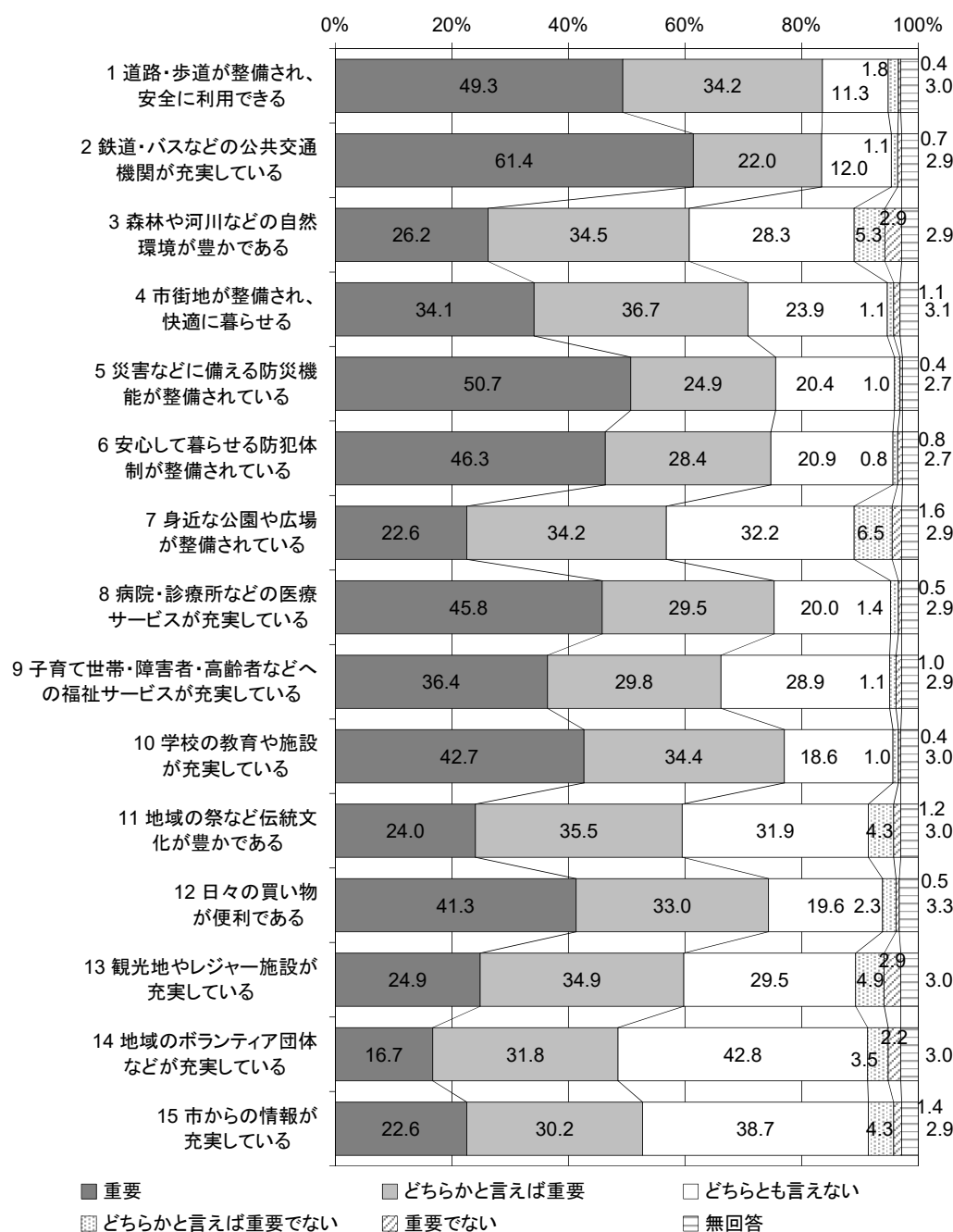
「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要』を見ると、「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(86.5%)が最も高く、「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」(85.3%)、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(80.4%)、「4 市街地が整備され、快適に暮らせる」(83.4%)、「5 災害などに備える防災機能が整備されている」(84.6%)、「6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている」(84.3%)「9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している」(81.6%)、「10 学校の教育や施設が充実している」(85.7%)、「12 日々の買い物が便利である」(80.6%)を合わせた9項目がいずれも8割以上となっています。



中学生 (n=650)

【高校生・重要度】

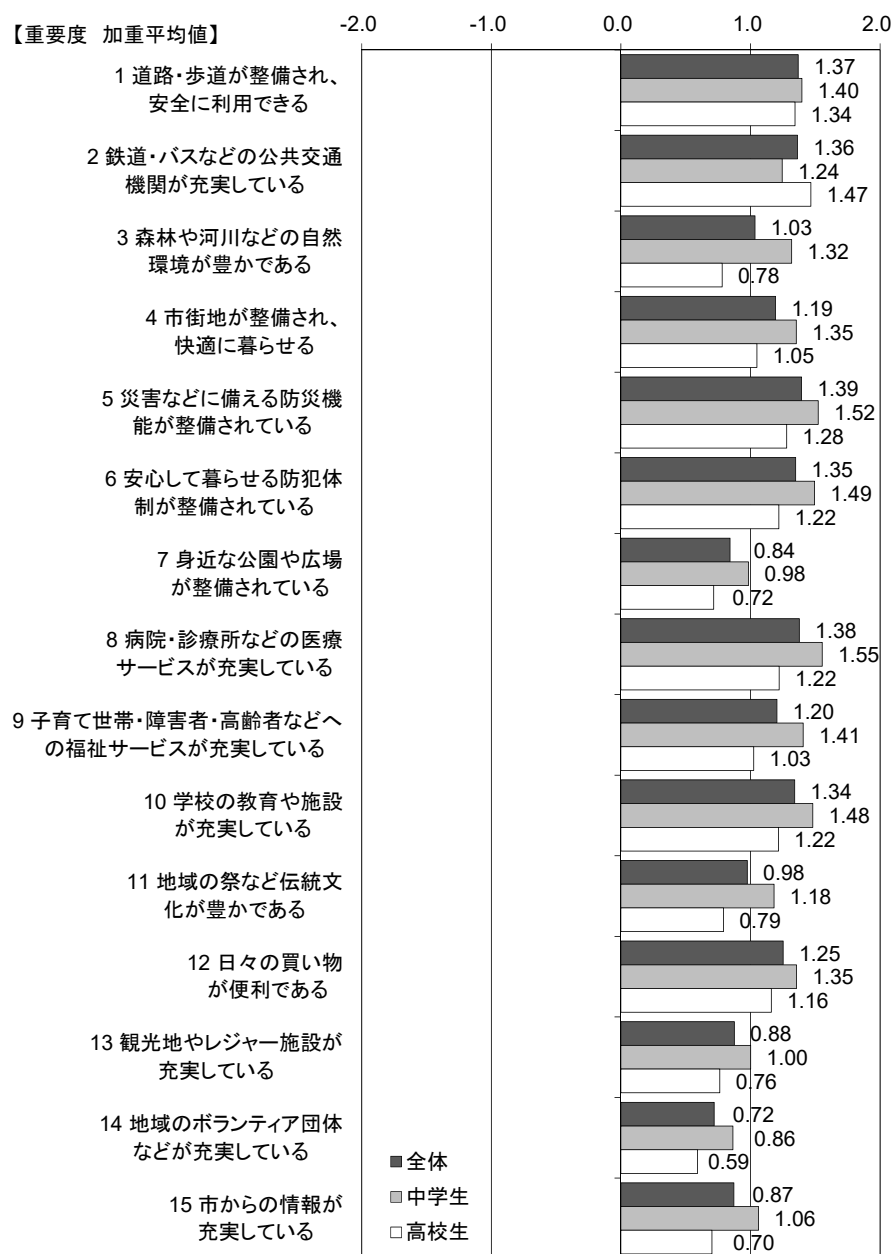
「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要』を見ると、「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」(83.5%)、「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」(83.4%)の2項目が8割以上で同程度に高くなっています。



高校生 (n=736)

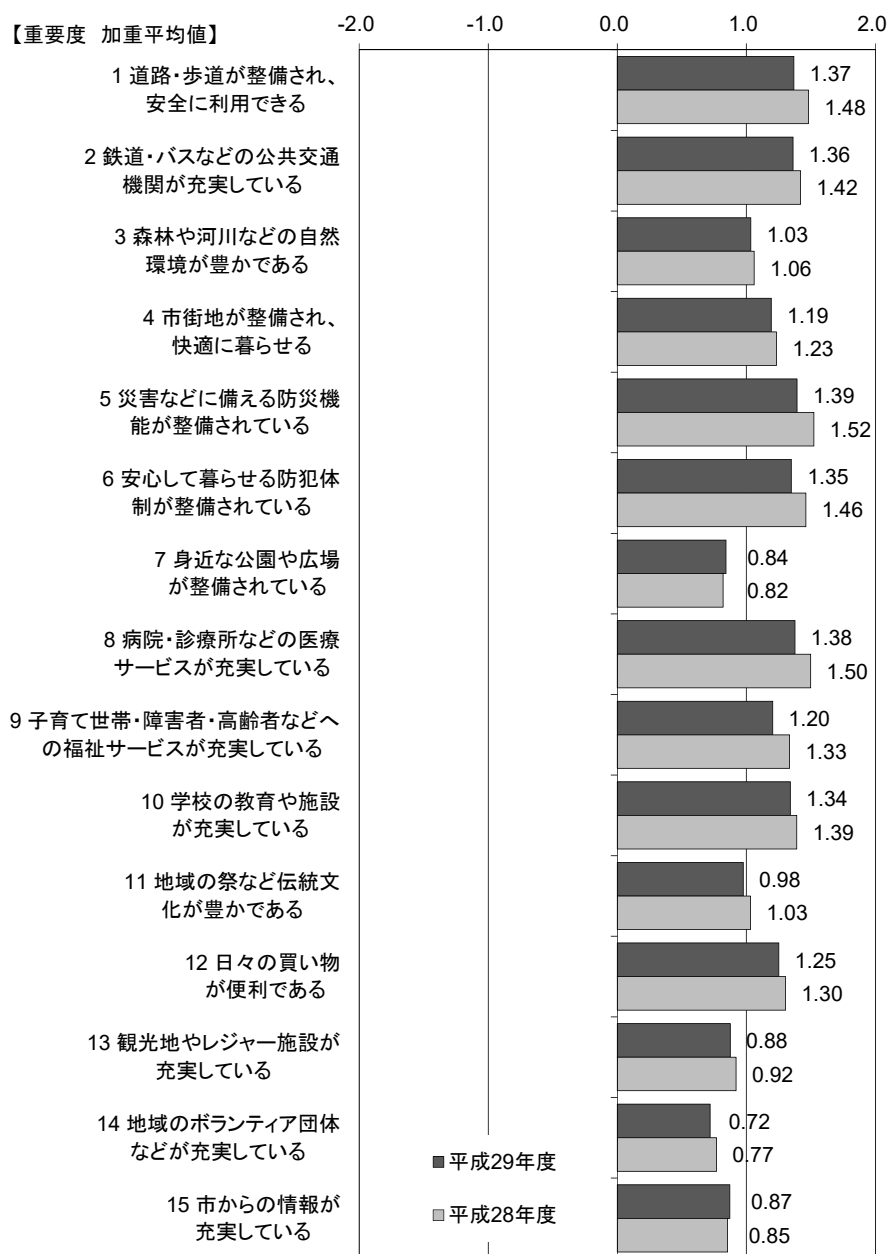
【加重平均値・重要度】

加重平均値を見ると、全体・中学生・高校生のいずれもすべての項目がプラス値となっており、その中で全体は「5 災害などに備える防災機能が整備されている」(1.39 ポイント)、中学生は「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(1.55 ポイント)、高校生は「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」(1.47 ポイント)がそれぞれ最も高くなっています。



【加重平均値・全体・重要度の経年変化】

全体について、前回調査との比較を加重平均値で見ると、大きな変化は見られませんが、前回よりも若干低い項目が多くなっています。



(3) 15項目の満足度と重要度の関係

15項目それぞれの満足度と重要度の加重平均値をマトリックスグラフに示し、満足度及び重要度の全項目平均値を基準として、相対的な位置について4つの象限で見えてみると、おおむね以下に分類できます。

Aブロック 重点的な対応・早期の見直しが求められている項目

満足度が低い一方、重要度が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析とそれに基づく施策の早急な見直しが求められています。

Bブロック 状況に応じた対応・長期の見直しが求められている項目

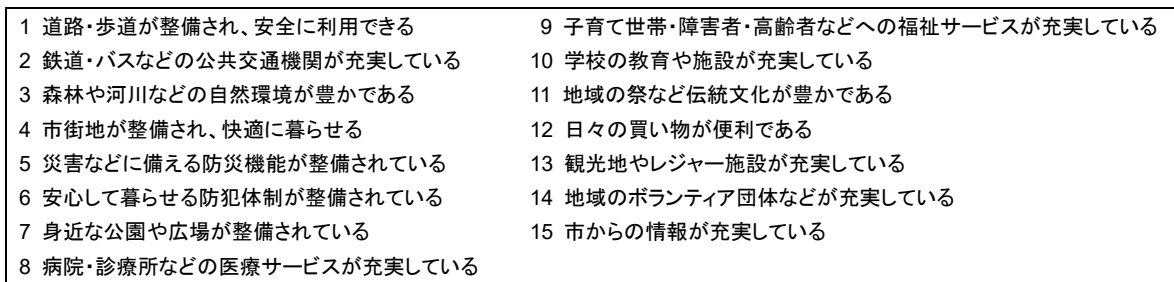
重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と市としての方向性、位置づけについて、市民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

Cブロック 安定的な維持・拡充が求められている項目

満足度・重要度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められています。

Dブロック 現状維持が求められている項目

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、その必要性の周知や、認識の共有を図ることが必要と考えられます。



3 男女の平等に対する意識について

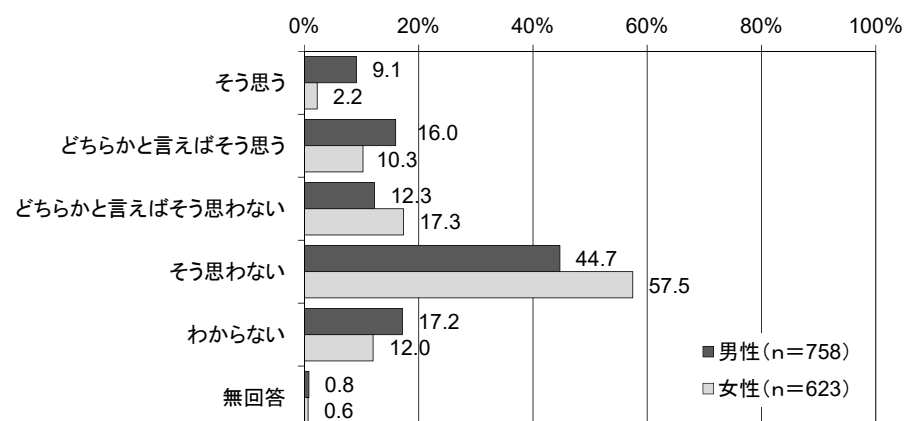
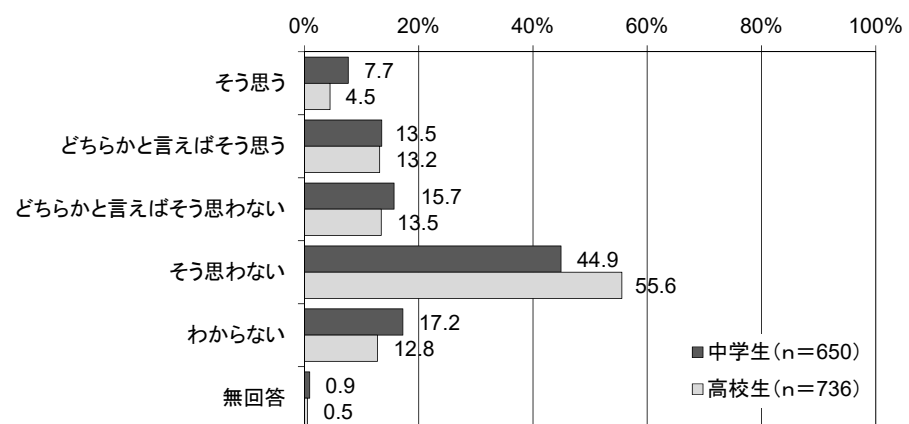
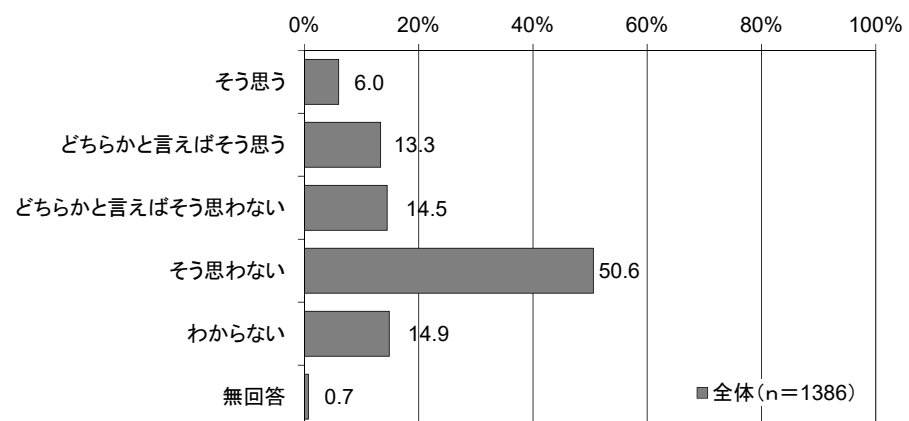
問2 男女の役割分担意識

あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」と思いますか。（1つ選択）

全体では「そう思わない」（50.6%）が5割以上で最も高くなっています。

中学生・高校生別に見ると、いずれも「そう思わない」（中学生 44.9%、高校生 55.6%）が最も高く、高校生が中学生を10.7ポイント上回っています。

男女別に見ると、いずれも「そう思わない」（男性 44.7%、女性 57.5%）が最も高く、女性が男性を12.8ポイント上回っています。



4 観光の取組について

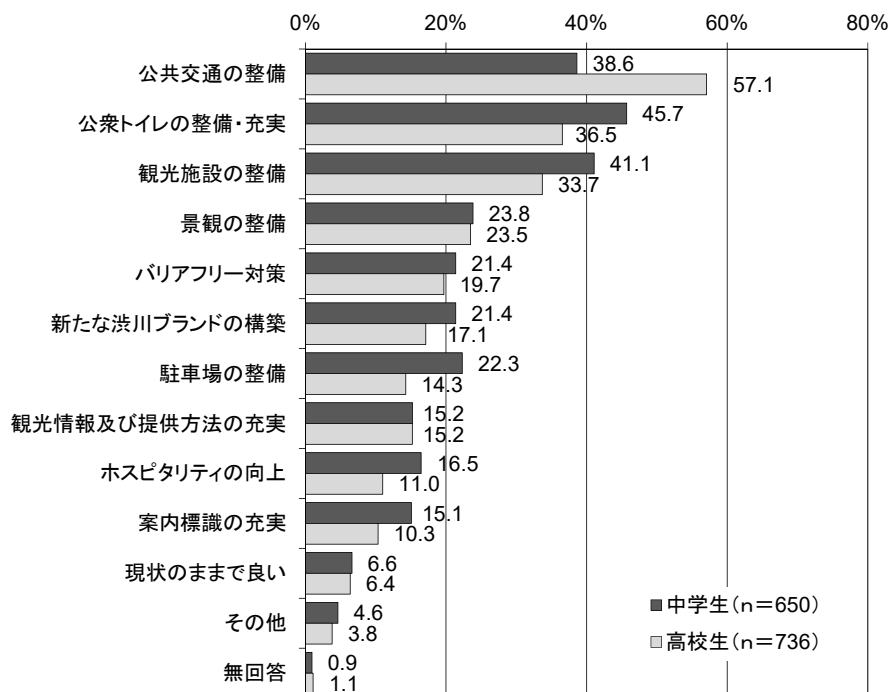
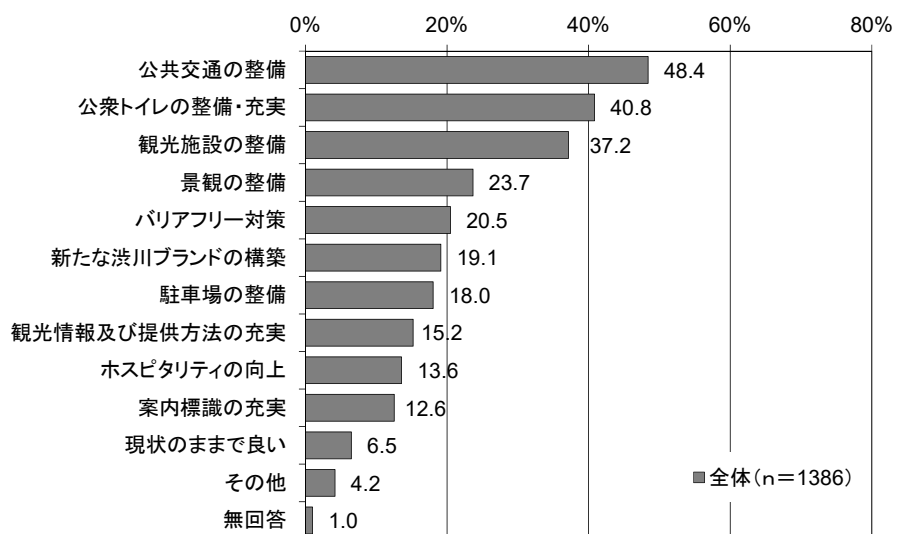
問3 取り組むべき観光振興

あなたは、観光振興対策としてどのようなことに取り組んだ方が良いと思いますか。（3つまで選択）

「公共交通の整備」（48.4％）が約5割で最も高く、次いで「公衆トイレの整備・充実」（40.8％）、「観光施設の整備」（37.2％）の2項目が約4割となっています。

中学生・高校生別に見ると、中学生は「公衆トイレの整備・充実」（45.7％）、高校生は「公共交通の整備」（57.1％）がそれぞれ最も高くなっています。

「その他」は、中学生・高校生ともに大型ショッピングモール（センター）に関する記述が多く見られました。



5 市政について

問4 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと

あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（自由記入）

974 人から意見をいただきました。これを現在の総合計画の 8 大分野別に読み分けを行い、1,290 件の意見としてまとめました。なお、複数の分野にまたがる内容については、各分野に関する意見として集計しています。

各分野に関する主な意見を以下に示します。なお、記載については、原則として原文のままとしています。

分野	意見数（件）
1 都市基盤分野	358
2 自然環境分野	76
3 生活環境分野	209
4 健康・福祉分野	70
5 教育・文化・スポーツ分野	158
6 産業分野	289
7 コミュニティ・市民参加分野	50
8 行財政分野	52
9 その他	28
合計	1,290

【1 都市基盤分野】

- ・国道 17 号と渋川伊香保 IC の下り方向の車線増設。主要道路から各小中学校に入る路地の整備。
- ・通学に使う人が多いので、大正橋の歩道橋にもっと力を入れる。
- ・できる限り自然を残し、道路や駐車場など、公共の場をきちんと整備する。
- ・車が無くても生活もできるように公共交通機関の整備をより充実させる。
- ・市内の公共交通機関があまり充実しておらず、生活しにくいので、公共交通機関の整備を行う。
- ・もっとバスや電車の本数を増やしたい。
- ・鉄道の時間ごとの利用者数を調査して、ニーズに合ったダイヤにする。
- ・登校・下校時間に合わせて電車やバスの本数を増やす。
- ・公共交通機関の整備。有名観光地へのアクセスを簡単にする。
- ・駅を中心とした地域の再開発。

【2 自然環境分野】

- ・地球温暖化防止対策を呼びかける。
- ・ポイ捨てなど環境を破壊することを禁止し、ゴミが視界に入ることのないまちづくり。
- ・月に一度、土日のどちらかに市民全員が参加するゴミ拾い活動をする。花をたくさん植える。
- ・森など木が生えている所を子どもが来ても安全のように整備する。
- ・自然を守り、緑豊かな場所にすること。今の環境を壊さない。
- ・一人ひとりが自然を大切にしていきたい。
- ・自然環境を壊さずに、自然をいかした景観づくり。

【3 生活環境分野】

- ・地震など、災害時の備えに力を入れる。
- ・交通環境の整備。道路標識や街灯の設置場所の見直しなど。交通事故につながる危険な場所に新しく横断歩道ができて安心したという話を聞いた。交通環境の整備が安全・安心な暮らしにつながると思う。
- ・登下校時の暗い道に街灯を付けるなど、道路を安全に使えるようにする。
- ・世帯を増やすために、公園や子育てに適した場所づくりをする。
- ・障害者や高齢者も住みやすいように、バリアフリーやユニバーサルデザインなどに力を入れたい。
- ・公園などを小さな子どもからお年寄りまで楽しく利用できるようにしたい。
- ・大きな公園をつくり、子どもが遊びやすいようにする。トイレをたくさんつくる。

【4 健康・福祉分野】

- ・子育て、老人の支援。ベビーシッター、ホームヘルパー、保育士の強化。
- ・働いているママのために、会社に保育園をつくる。
- ・赤ちゃんから高齢者までが安全で元気に住めるところがよいと思う。笑顔で住めたり、近くに買い物ができる所があるとよい。
- ・小さな子どもやお年寄り、障害を持つ人達が暮らしやすいまち。
- ・高齢者や幼児が快適に暮らせるようにする。そのために高齢者施設をもっと増やす。病院でも認知症の人を扱う。
- ・保育や福祉関係（老人介護）の仕事をする人の職場環境の整備。
- ・貧困家庭のないまちにしたい。

【5 教育・文化・スポーツ分野】

- ・勉強のしやすい環境を整える。
- ・中学生や高校生が勉強できる施設を増やす。
- ・いじめがないように呼びかける。学生が勉強するためだけの図書館をつくる。
- ・学校にエアコンを付ける。学校の授業でタブレットを使う。学校にウォーターサーバーを取り付ける。学校の建て替え。学校への自転車通学を許可する。
- ・給食を美味しく。
- ・図書館施設の増加（本よりインターネットの世界になっているため、本の良さを伝える）。
- ・400 メートルのスケートリンク。質の良い公園、グラウンドをつくる。ソーラーパネルを減らして広場をつくる。
- ・いろいろなスポーツの大会をする。

【6 産業分野】

- ・工業団地を発展させ、人口を増やす。
- ・名産物をもっと大きく売り出す。渋川と言ったらこれと言うものをつくる。
- ・渋川にしかない名物のようなものを開発する。
- ・渋川市全体にもっと買い物ができるスーパーやスポーツ店などを増やし、他の市から多くの人が来るようにしたい。
- ・大きなショッピングモールや遊び場、設備の充実したまちづくりに力を入れたい。
- ・人がたくさん来てくれるように、空地にショッピングモールなどをつくる。
- ・観光でお客さんを取り込み、お金を増やし、地域を活性化させる。
- ・市のみんなが満足できる観光施設やショッピングモールなどをつくりたい。

【7 コミュニティ・市民参加分野】

- ・誰もが穏やかな気持ちで日々の生活を送れるようにするために、地域の方々とのゴミ拾い活動や、車で市を回り、問題点、不便な点がないかどうかの確認をよく行う。直したほうがよいところは直す。みんなでよい渋川市をつくっていく。
- ・自ら市民と話をして、便利なものは何か、不便なものは何かを聞く。みんなが毎日楽しいと思えるような日々にしてあげたい。悩み事の相談にのりたい。お手伝いをする。まちをきれいにする。
- ・市民や市民以外のどんな人達にも優しくする。明るく楽しい活気のあふれる渋川市にする。
- ・みんながあいさつをできるように取り組みたい。
- ・ボランティア活動の向上。
- ・女性が働きやすい環境をつくること。
- ・男女平等な社会。

【8 行財政分野】

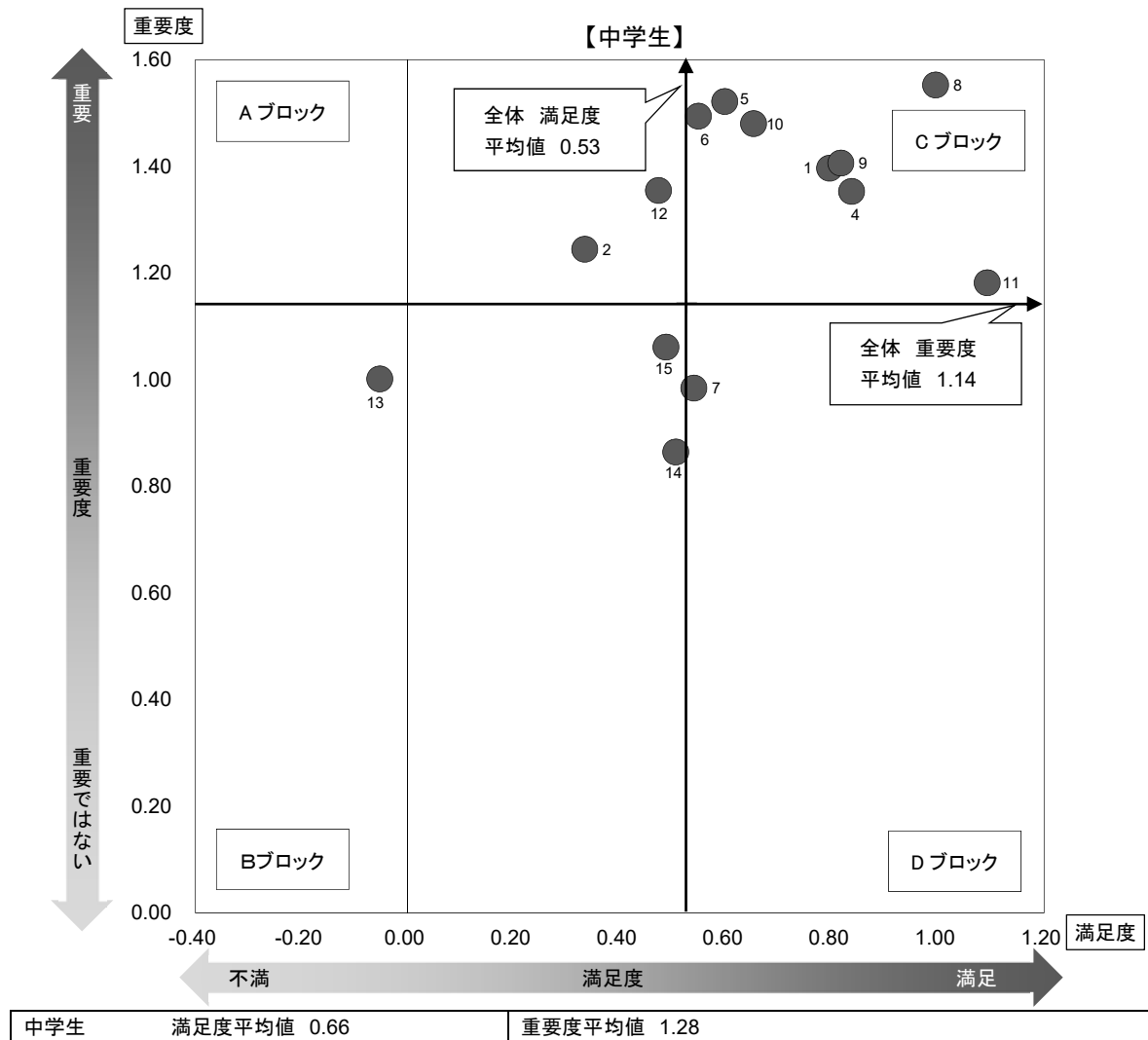
- ・市民の声を聞き、より良いまちづくりをする。
- ・市民の思う住みたいまちがどのようなものなのか、アンケートなどで調べることに力を入れる。
- ・子どもの意見にも目を向けて市政を行う。学校に目安箱的なものを置く。
- ・税金を市民のためになるべく多く使いたい。
- ・税金の無駄使いをなくす。
- ・市役所の窓口の受付時間を増やす。
- ・他の市と協力。

【9 その他】

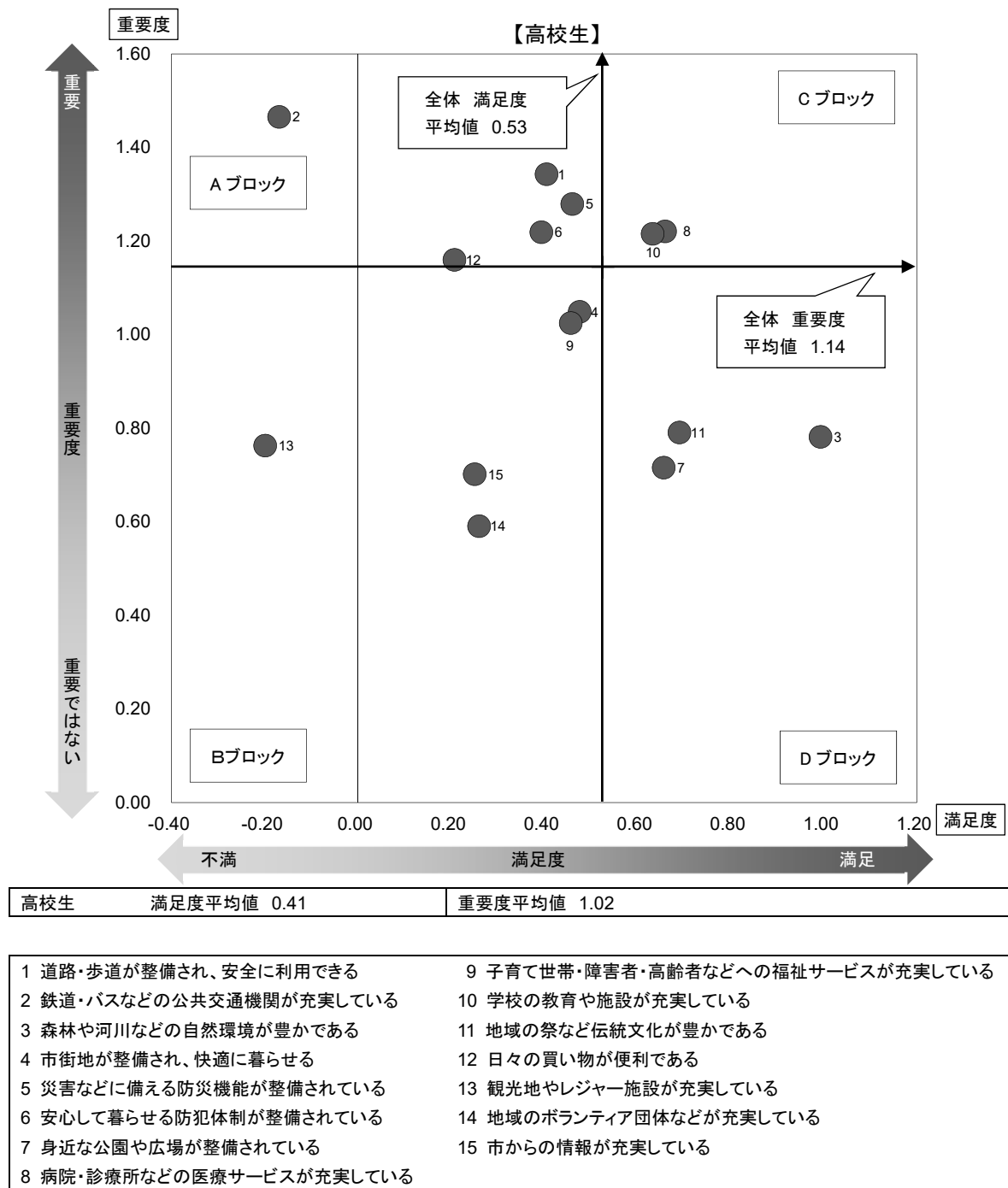
- ・便利になるように公共交通機関を発達させて、環境も守りつつ、祭りなどの行事に力を入れ、市も援助したり、少子化の今、子どもがなるべく参加してくれるように対策をとる。
- ・月に1回、家族感謝デーを開く。
- ・たくさんのことに力を入れたい。
- ・渋川の活性化に努めたい。

資料

中学生・高校生別満足度・重要度（加重平均値）



- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる | 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している |
| 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している | 10 学校の教育や施設が充実している |
| 3 森林や河川などの自然環境が豊かである | 11 地域の祭など伝統文化が豊かである |
| 4 市街地が整備され、快適に暮らせる | 12 日々の買い物が便利である |
| 5 災害などに備える防災機能が整備されている | 13 観光地やレジャー施設が充実している |
| 6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている | 14 地域のボランティア団体などが充実している |
| 7 身近な公園や広場が整備されている | 15 市からの情報が充実している |
| 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している | |



平成 29 年度 中学生・高校生意識調査

中学生・高校生意識調査ご協力をお願い

皆さん、こんにちは。

市では、皆さんが住みやすいまちを目指し、様々な取組を行っています。

そこで、将来のまちづくりの主役となる中学生及び高校生の皆さんに、まちづくりについての意見や希望をお伺いし、これからのまちづくりにいかすため、調査を実施します。

なお、本調査の結果につきましては、ホームページ等で公表する予定です。

皆さんが普段考えていることをお答えください。よろしくお願いいたします。

平成29年5月

渋川市長 阿久津 貞司

ご記入に当たって

- 1 お答えは、ご本人が記入してください。
- 2 お答えは、質問ごとに選び方が指定されていますので、該当する番号を選び○（丸印）で囲んでください。
- 3 「その他」を選んだ場合は、（ ）の中に具体的な内容を記入してください。
- 4 回答を目的以外に使用することはありません。また、統計的に回答を処理するため、お答えいただいた方が特定されることはありません。

（お問合せ先）

渋川市 企画部 企画課 政策係

電話：0279-22-2111（代表） FAX：0279-24-6541

E-mail：hp-kikaku@city.shibukawa.lg.jp

あなたご自身のことについてお伺いします。

【1】あなたの性別は、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

1. 男

2. 女

【2】あなたは、中学生ですか、高校生ですか。1つ選んで○をつけてください。

1. 中学生

2. 高校生

【3】あなたのお住まいは、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

1. 渋川地区

2. 伊香保地区

3. 小野上地区

4. 子持地区

5. 赤城地区

6. 北橘地区

7. その他〔市・町・村〕

【3-1】前問【3】で、1～6を選んだ方にお伺いします。あなたは、渋川市に住んで何年になりますか。1つ選んで○をつけてください。なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。

1. 3年未満

2. 3年以上5年未満

3. 5年以上10年未満

4. 10年以上

【4】あなたは、将来渋川市に住みたいと思いますか。1つ選んで○をつけてください。（渋川市外にお住まいの方もお答えください。）

1. 渋川市内に住み続けたい

2. 一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい

3. 渋川市外に移りたい

4. 渋川市内に移り住みたい

5. 渋川市内に移り住みたくない

6. わからない

市の現状の評価についてお伺いします。

【問１】 あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。次の１～１５の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の５段階評価の中から、１つずつ選んで○をつけてください。

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかとも言えない重要でない	重要でない
(例)	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	森林や河川などの自然環境が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	市街地が整備され、快適に暮らせる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	災害などに備える防災機能が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	安心して暮らせる防犯体制が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	身近な公園や広場が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	病院・診療所などの医療サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	学校の教育や施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	地域の祭など伝統文化が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	日々の買い物が便利である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	観光地やレジャー施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	地域のボランティア団体などが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15	市からの情報が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

男女の平等に対する意識について伺います。

【問2】あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」と思いますか。
1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

観光への取組について伺います。

【問3】あなたは、観光振興対策としてどのようなことに取り組んだ方が良いと思いますか。3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 公共交通の整備 | 2. 駐車場の整備 |
| 3. 公衆トイレの整備・充実 | 4. 景観の整備 |
| 5. 案内標識の充実 | 6. ホスピタリティ※の向上 |
| 7. 観光情報及び提供方法の充実 | 8. 観光施設の整備 |
| 9. バリアフリー対策 | 10. 新たな渋川ブランドの構築 |
| 11. 現状のままで良い | 12. その他 [] |

※ホスピタリティ：手厚いおもてなしのこと

市政について伺います。

【問4】あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（ご自由にお書きください。）

--

ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、先生へ提出してください。